

# 稲作だより

第 7 号  
穂 肥 編

平成 22 年 7 月 1 日発行  
新・米づくりやまがた日本一運動  
最上総合支庁農業技術普及課  
Tel 29-1333(稲作担当)

出穂は平年並みの予想！  
葉色の低下を確認し、適期に穂肥を実施しましょう!!

## 1. 生育概況

6月30日現在の生育は、草丈は長く、茎数は平年よりやや少なく、葉齢進度からみた生育は平年並、葉色はやや濃く推移しています。

早生品種ではすでに幼穂分化が確認されています。

今後は稲の生育を把握し、適期を見極め適正な穂肥を実施しましょう！

## 県生育診断ほの生育調査結果 (6月30日現在)

草丈：長い

茎数：やや少ない

葉数：平年並

葉色：やや濃い

地帯	年次	草丈 cm	茎数 本/m <sup>2</sup>	葉数 枚	葉色 SPAD
平坦 はえぬき	本年	51.8	541	9.6	45.3
	平年	45.9	571	9.4	43.0
	平年比	113	95	0.2	2.3
平坦 つや姫	本年	58.0	407	9.1	41.6
	平年	47.9	426	8.8	39.0
	平年比	121	96	0.3	2.6
中山間 あきたこまち	本年	57.2	487	9.9	47.5
	平年	46.1	546	9.3	43.0
	平年比	124	89	0.6	4.5
山間 あきたこまち	本年	52.1	342	8.3	45.4
	前年	46.0	432	9.5	43.4

## 2. 当面の技術対応

### 直ちに中干し作溝を！

土壌の「ワキ」による根の活力低下から葉色の低下を招いているほ場も見られます。中干しは稲体の活力を維持するとともに登熟を良好にし、秋作業を容易にする基本技術です。まだ行っていないほ場では、直ちに中干し・作溝を実施しましょう。

### 穂肥の施肥基準

品種毎の施肥時期と施用量を確認しましょう。(表参照)

生育量が多く、葉色が濃い場合は、時期を遅らせず施用量を減らして対応します。

- 「あきたこまち」「ひとめぼれ」「コシヒカリ」など倒伏しやすい品種については、倒伏が懸念されるので中干しを確実に実施し、生育診断を行ったうえで、適期に穂肥対応しましょう。
- 「はえぬき」は、中干しを実施した上で、7月10日に生育診断を的確に行い、適正生育であれば幼穂形成期(出穂前25日)に、窒素成分で2kg/10aを上限に穂肥を実施します。

## 品種別施肥基準及び今年の予想

葉色：葉色板による測定値

品種名	施肥基準		施肥時の目安		今年の予想	
	時期	施用量	幼穂長	葉色	出穂期	施肥時期
はえぬき	出穂 25 日前	2.0kg	1.0 ~ 1.5mm	5.0	8/10	7/16
あきたこまち	出穂 20 日前	2.0kg	2.0mm	4.8	8/5	7/16
ひとめぼれ	出穂 20 日前	1.5kg	2.0mm	4.5	8/9	7/20
コシヒカリ	出穂 18 日前	1.0 ~ 1.5kg	2.5mm	4.3	8/17	7/31
ヒメノモチ	出穂 25 日前	2.0kg	1.0 ~ 1.5mm	5.0	8/4	7/10

## 葉いもち対策

注意深く、丁寧に、ほ場を見回しましょう

まもなく箱処理剤や予防粒剤の効果が切れる時期となります。葉色が濃く生育過剰な所、朝露のあがりが遅い所、風よどむ所を中心に、ほ場の見回りを徹底しましょう。病斑を発見したら発生程度に関わらず、直ちに「治療効果の高い薬剤」で防除してください。

薬剤名	ブラシン水和剤、ノンプラス水和剤、カスミン粉剤 DL、カスミン液剤 等
使用方法	粉剤 DL は、10a 当たり3~ 4kg 散布 液剤、水和剤は 1,000 倍を散布

特に「カスミン」は農薬登録内容の変更により、穂揃期までとなりましたので注意してください。

## イネアオムシ (ワタオビコヤガ) 対策

注意



近年、管内ではイネアオムシによる食害の発生が多くなっています。始めは、葉先にカスリ状の白斑を残しますが、幼虫が大きくなるにつれ、葉の縁からノコギリ状に食害します。食害の発生時期は概ね 7月上旬~中旬、7月下旬~8月上旬となっています。被害初期(カスリ状の白斑)の段階で、効果の高い薬剤で防除してください。

薬剤名	ディプテレックス乳剤、エルサン粉剤 2、エルサン乳剤
使用方法	粉剤は、10a 当たり4kg 散布 ディプテレックス乳剤は 2,000 倍、エルサン乳剤は 1,000 倍を散布

## 稲こうじ対策

昨年、管内では稲こうじ病の発生が多く見られました。土着の菌であるため、毎年同じ場所で発生し、発生すると治療法がないことから出穂 20 ~ 10 日前の予防対策が重要となります。

薬剤名	Zボルドー粉剤 DL、モンガリット粒剤
使用方法	粉剤 DL は、出穂 20 ~ 10 日前に、10a 当たり3~ 4kg 散布 粒剤は、出穂 20 日前に、10a 当たり4kg 散布

葉害の恐れがあるため、必ず出穂 10 日前までに散布する。また、葉がぬれている時は散布しない。